

NPO・草の根活動**堺市人権教育推進協議会**

堺市人権教育推進協議会（以下、「人権協」という）は、市民レベルでの主体的な人権問題への幅広い取り組みを進める気運が高まり、前身の堺市同和教育推進協議会が発展的改組して1979年に発足しました。以来、差別のない、明るいまちづくりを推進し、市民一人ひとりの人権意識の向上と確立を図ることを目的として校区推進員や企業、宗教者、市民団体などが参画してさまざまな啓発活動を行ってきました。

人権協では、主な啓発活動として次の事業を行っています。

- ①各委員を対象とした研修会の開催
- ②市民を対象とした啓発セミナー
（One♡Heart.セミナー）の開催
- ③区民まつり、堺まつり等での啓発テントの設置
- ④「わたしからの人権メッセージ」発表会の開催
- ⑤憲法週間中の啓発キャンペーン
- ⑥人権週間中の街頭啓発及び講演会「人権を守る市民のつどい」の開催
- ⑦人権協広報紙「こころの響き」を年1回市内全戸配付



また、人権協では、重点的な取り組みのひとつとして、「身元調査お断り運動」を推進しており、堺市と共同して区役所等の窓口にカウンターサインを設置しているほか、ホームページや広報紙「こころの響き」などに関連記事を掲載しています。

今後も、広く市民のみなさんに人権協の活動を知ってもらい、その趣旨を広げていくため、さまざまな機会を通じて啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。

人と人をむすぶ かみしばい 紙芝居劇の味わい ～「むすび」(大阪市)

「むすび」は、大阪市西成区にある通称・釜ヶ崎で紙芝居や地域案内の活動をする平均年齢73歳のグループです。失業・日雇い労働・路上生活を経験したメンバーも多く、生活保護を受けながら活動を続け、仲間たちとの出会いや生きがいを見出しています。人々の交流により、高齢化する日雇い労働者の街の活性化に役立ちたいと、世代や場所を問わず積極的に公演を出前したり、見学者を受け入れたりしています。

主な活動は手づくりの紙芝居の上演です。昔なつかしい『桃太郎』や『おむすびころり』、オリジナル作品の『ぶんちゃんのおい土めぐり』では5歳の女の子があので鬼やエンマ様と遊びます。いずれも工夫を凝らした小道具や自作の絵、飛び出す演出が好評で、地域の保育園やデイサービスセンター、アート系イベント、学園祭などで幅広く活動しています。また、全国から釜ヶ崎に来る学生や研究者、個人等に西成案内や紙芝居上演をしています。何度も通ってきてくださる若い方や興味をもって訪ねてくださる方も多く、異世代交流の場にもなっています。

さまざまな人生経験を経たメンバーですが、それぞれの特技や個性を紙芝居に持ち寄り、なんともいえない味わいをつくりだしています。紙芝居を通じて多くの人を元気づけ、夢を与えることができるよう毎日の稽古を欠かさず頑張っていこうと思います。

むすび連絡先

〒557-0002 大阪市西成区太子2-2-16 エッグス内
Tel & Fax 06-6635-2699

※公演依頼はこちらまで

- NPO法人こえとことばとこころの部屋
むすびプロジェクト係
Tel. 06-6636-1612 Tel&Fax. 06-6636-1662
E-mail. cocoroom@kanayo-net.com
<http://musubiproj.exblog.jp/>

Our Planet TVにて「むすび」プロジェクト作品配信中

(2006年Planet-Eyes最新リポート)
<http://www.ourplanet-tv.org/>

